



学校教員の皆様へ

JA共済 小・中学生 書道コンクールのお知らせ



書道コンクールキャラクター
「キョジョー」
©2006 JA-KYOSAI

書写・書道は世界に誇る日本の伝統文化です。
書写・書道の“考えて書く”という学習過程を通して、生涯にわたって活用できる「書く力」を学ぶことができ、
集中力を高め、落ち着きが得られるといった内面的な効果から、子どもを大きく成長させてくれます。
このコンクールに、クラスまたは学校で取り組んでみませんか？

コンクールに 込めた思い

次代を担う小・中学生の皆さんに、「相互扶助」と思いやりの気持ちを伝えと共に、
児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として、「書道コンクール」を開催しています。

審査員長の声



日展理事
新井 光風先生

今の時代、他国の文化をインターネットですぐに知ることができますが、他国の文化を理解するためには、まず自分たちが日本の文化、芸術、そして書を理解すること、尊重することで、より理解が深まるのだと思います。
書道は文字を大切にすること。これは日本の芸術の根幹を成すものです。小学生、中学生の皆さんが書写・書道に情熱をかけ、積極的に取り組むことはとても素晴らしいことだと思います。

後援省庁の声



文部科学省
初等中等教育局 教科調査官
豊口 和士先生

毛筆で文字を書くこと、それにより他者へ思いや気持ちを伝えることは、それ自体が文化です。日頃の学習をさらに進めて作品としてまとめることは難しいでしょうが、その過程で色々なことを考え、自分と向き合い、自分の中の大切な何かの変化に気づけたら幸せなことです。
日頃の努力、文字を大切にしている気持ちにあふれた作品を楽しみにしています。

学校教員の声



神奈川県秦野市立本町小学校
校長 杉山 哲也先生

本校をはじめ、子どもたちは習字が大好きです。そして、毎年、夏休みの課題の一つであるこのコンクールへの参加をととても楽しみにしています。
学校で子どもたちの表彰をする時、必ず伝える言葉があります。「参加したからといって良い結果がでるとはかぎらない。でも、チャレンジしなければ良い結果は生まれません。だから、まずチャレンジしてみよう！」
今、全国の書道好きの子どもたちが、「日本一の書道コンクール」入賞をめざして、わくわくしながら日々の練習に取り組んでいます。私たち学校教員も、子どもたちを励まし、その努力を認め支えることに全力をあげたいと思います。

「JA共済 小・中学生 書道コンクール」3つの特徴

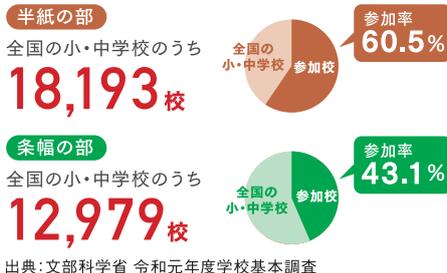
①協賛・後援

省庁をはじめ、毎年多くの協賛・後援をいただいているコンクールです。

令和元年度
文部科学大臣賞
青森県 小学校6年
佐々木 胡春



②令和元年度参加学校数



③歴史

昭和32年より半世紀以上続く歴史あるコンクールです。

応募総数

59,112,346点

これまでの書道用紙を重ねると約5,911m
富士山の高さの約1.5倍※

※市販の書道用紙10枚を重ねた厚さを1mmとして換算



今年の課題や詳しい応募方法はコチラ

課題	小学生			中学生				
	学年	条幅の部	半紙の部	学年	条幅の部	半紙の部		
第1学年	ひかり	えみ	第4学年	明るい声	成長	第1学年	伝統の継承	豊年満作
第2学年	きずな	みらい	第5学年	自然の美	希望の道	第2学年	柔軟な発想	地域連携
第3学年	助けあい	まなざし	第6学年	価値の創造	四季の花	第3学年	荘厳な自然	初志貫徹

JA共済連長野

検索

<https://www.jakyosai-nagano.jp/>



後援

長野県・長野県教育委員会・JA 長野中央会・JA 長野県組合長会・日本農業新聞・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn 長野朝日放送・長野エフエム放送

応募締切 令和3年8月27日

お問い合わせ先 JA共済連長野 JA支援部 026-219-6255

注意事項：作品は最寄りのJAへ応募ください。JAから配布された名札に「学校名」「学年」「氏名」「所属JA名」を明記して作品の左下に必ず貼付してください。入選・入賞にかかる新聞等への発表は、名札に記載の「学校名」「学年」「氏名」が掲載されます。そのほか詳細はJA共済連ホームページをご覧ください。